

まちのくすりやさん

第98号

今回のおはなし

「検診結果 数値の見方や活用法は」

「電子たばこ発がん物質」

「子ども誤飲 薬が最多」



検診結果 数値の見方や活用法は？

職場や地域などで行われている健康診断。

検診の検査項目として代表的なのは、血液中の脂肪について示す血中脂質です。**HDL コレステロール**は善玉コレステロールと呼ばれ、動脈硬化を予防する役割がありますが、運動不足や喫煙で低下します。逆に **LDL コレステロール**は悪玉コレステロールといわれ、多すぎると血液が粘る状態となり、血管の壁に付着して動脈硬化を引き起こします。心筋梗塞などにもつながりかねません。**中性脂肪**は脂肪や糖類の取りすぎや過度な飲酒で数値が上がり、高くなりすぎると動脈硬化や膵炎（すいえん）の原因になります。

検診内容	検診項目	項目、数値の示す意味合い、注意点
血中脂質	HDL コレステロール	血管を若く保つ、少ないと血管がボロボロに。
	LDL コレステロール	血中に多すぎると、血液がドロドロになり、動脈の老化を進める
	中性脂肪	余分な脂肪。多すぎると血管がつまりやすくなる。
肝機能	GOT、GPT	数値が高いと肝細胞が壊れている恐れがある。肝炎などの病気で上がるが、筋肉への負荷で上昇することも。
	γ-GTP	アルコールによる肝障害で上がる数値指標
糖尿病	血糖値	血中のブドウ糖濃度。但し1日で変動し検診時の数値でしかないので、検査では経年、経時変化をつかみづらい
	HbA1c	ブドウ糖と結合したヘモグロビンの割合。ヘモグロビンの寿命に応じ、1～2か月の血糖状態がわかる
貧血	赤血球数	基準より低いと貧血。低下傾向が続くと体内での出血の恐れも。
	MCV、MCH、MCHC	MCVは赤血球の大きさ。MCHは赤血球1個に含まれるヘモグロビン量。MCHCは赤血球の単位容積当たりのヘモグロビン量。総合的に数値を見て、貧血の原因（鉄不足、体内出血、骨髄の病気）を判断する
	白血球	体内で炎症があると増加し、血液の病気でも増減。ただ、風邪などの軽い症状でも増減することがある。

★検診は受けて終わりではなく、数値の毎回の推移のチェックをすることが大切です！

国内流通 9 銘柄中 4 銘柄が

電子たばこ 発がん物質

香りや味の成分を添加した溶液を電気式の吸引器で加熱して蒸気を吸う電子たばこに関し、厚生労働省の研究班は、国内で流通する 9 銘柄中 4 銘柄で、蒸気から高濃度の発がん物質ホルムアルデヒドが検出されたとの調査結果を発表しました。また、一部の溶液からは、国内販売では認められていないニコチンが検出されたといえます。電子たばこは、V A P E（ベープ）などとも呼ばれ、スティック型やパイプ型などが流通しています。国内ではニコチンを含むものは医薬品医療機器法（旧薬事法）の規制対象となり、販売が認められていません。

ニコチンを含まないと称して販売されていた溶液 103 製品を分析した結果、半数近い 48 製品でニコチンを検出しました。

子ども誤飲 薬が最多

子どもの誤飲事故について、薬がたばこを抜き、初めて最多となったと厚生労働省が発表しました。親が目を離したすきに薬をテーブルや冷蔵庫から取って誤飲する子どもが多くいます。

保護者は、手の届かない場所に薬を置くように注意して下さい。

実例)・精神神経用薬を飲み、意識障害となり 1 週間入院した。

・母親のバッグから取り出した風邪薬を最大で 14 錠飲み、2 日入院した。

医薬品・医薬部外品の次に、たばこ、ビニールなどのプラスチック製品、おもちゃ、金属製品、硬貨、電池、食品類、化粧品、洗剤類の順に誤飲事故が報告されています。

(一社) 浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実 1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>